



Informatica® Multidomain MDM
10.3

リリースノート

Informatica Multidomain MDM リリースノート
10.3
2018 年 9 月

© 著作権 Informatica LLC 2001, 2019

発行日: 2019-05-28

目次

概要.....	V
第 1 章 : Multidomain MDM バージョン 10.3.....	6
第 2 章 : インストールおよびアップグレード.....	7
インストールまたはアップグレード前の手順.....	7
Java Runtime Environment のインストール.....	7
アップグレード前のサブジェクト領域名の更新.....	7
英語以外の環境での Hub サーバーのインストール.....	7
前提条件の検証をしない Hub サーバーインストール.....	8
エンティティ 360 表示のアップグレードインストール.....	8
Apple Single Sign-On はサポートされない.....	8
IBM 環境.....	9
IBM AIX オペレーティングシステムにおける JBoss 環境での MDM Multidomain Edition の インストール.....	9
IBM AIX 環境でのバージョン 10.1 HotFix 2 からの Hub サーバーのアップグレード.....	9
IBM DB2 環境での埋め込み ActiveVOS のアップグレード.....	9
IBM DB2 での一致ポピュレーションの有効化.....	9
Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境でのアップグレード.....	9
WebSphere クラスタ環境での ActiveVOS のインストール.....	10
Linux 環境での WebSphere バージョン 8.5.5.9 へのプロセスサーバーのインストール.....	10
プロセスサーバーのインストールおよびアップグレード.....	11
Oracle 環境.....	11
WebLogic Server 認証の無効化.....	11
コンソールモードでの Oracle 環境への Hub サーバーのインストール.....	11
Oracle 環境でのバージョン 9.5.1 からのアップグレード.....	11
Oracle および JBoss 環境でのバージョン 9.7.1 からの Hub サーバーのアップグレード.....	12
Oracle WebLogic 12.2.1.3 以降.....	12
WebLogic サーバー 12.1.3 への Hub サーバーのインストール.....	13
WebLogic クラスタでの Hub サーバーのインストール後のタスク.....	13
英語以外の Oracle および JBoss 環境での PostInstallSetup スクリプトの実行.....	13
JBoss 環境.....	14
JBoss 環境での Hub サーバーのインストール.....	14
JBoss クラスタでのオペレーショナル参照ストアの登録.....	14
HP-UX、Linux および Solaris 環境.....	14
Solaris 環境および HP-UX 環境での Informatica プラットフォームのサポート.....	14
HP-UX での Hub サーバーのインストール.....	14
サイレントモードでのリソースキットのインストール.....	15
インストールまたはアップグレード後の手順.....	15
オペレーショナル参照ストアのアップグレード.....	15

変更リスト昇格.....	15
プロセスサーバーのスマート検索用プロパティ.....	15
スマート検索のための URI エンコーディング.....	16
ローカライズされたスキーマの更新.....	16
Amazon Web サービスにホストされる Multidomain MDM.....	17
ActiveVOS マルチテナントモード (Amazon Web サービスの MDM Multidomain Edition) ...	17

第 3 章 : バージョン 10.3..... 18

解消された制限事項.....	18
MDM Hub で解消された制限事項 (10.3)	18
Data Director で解消された制限事項 (10.3)	20
プロビジョニングツールで解消された制限事項 (10.3)	23
SIF API の解消された制限事項 (10.3)	24
実装された拡張要求.....	24
MDM Hub に実装された拡張要求 (10.3)	24
Data Director に実装された拡張要求 (10.3)	25
既知の制限事項.....	25
MDM Hub の既知の制限事項 (10.3)	25
Data Director の既知の制限事項 (10.3)	29
プロビジョニングツールの既知の制限事項.....	34
ビジネスエンティティサービスの既知の制限事項.....	35
Solr を使用した検索の既知の制限事項.....	35
ビジネスプロセス管理の既知の制限事項.....	37
Resource Kit の既知の制限事項.....	39
サンプルのオペレーショナル参照ストアの既知の制限事項.....	39
サービス統合フレームワークの既知の制限事項.....	40
Informatica プラットフォームの既知の制限事項.....	40
Informatica Data Controls の既知の制限事項.....	40

概要

『*Informatica Multidomain MDM のリリースノート*』には、このリリースの既知の制限事項に関する重要な情報が記載されています。Informatica^(R) Multidomain MDM をインストールする前に、このドキュメントをよくお読みください。

第 1 章

Multidomain MDM バージョン 10.3

Multidomain MDM10.3 は、バージョン 10.x コード行の最新リリースです。

このリリースには次の項目が含まれます。

- *Multidomain MDM* のリリースガイドに記載されている新しい機能。
- バージョン 10.2 および 10.2 HotFix 1 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- バージョン 10.1 から 10.1 HotFix 5 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- バージョン 10.0 から 10.0 HotFix 5 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。

このリリースには次の項目が含まれていません。

- 10.1 HotFix 6 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作のすべて。
- 10.2 HotFix 2 でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作の一部。
- 任意のバージョンの EBF でリリースされた、解消された問題、機能および変更された動作の一部。

このリリースに統合されなかった問題は、既知の制限事項として記載されています。[「既知の制限事項」 \(ページ 25\)](#)を参照してください。

重要: 今後のすべての HotFix または緊急バグフィックスリリースで、バージョン 10.3 以降がインストールされていることが要求されます。

第 2 章

インストールおよびアップグレード

Multidomain MDM には製品のインストールおよびアップグレードに関連する既知の制限事項があります。始める前に、これらの問題を確認します。mm

インストールまたはアップグレード前の手順

既知の制限事項の中には、インストールまたはアップグレードの実行に影響を与える可能性のあるものもあります。発生する可能性のある問題を回避するには、次の問題を確認し、アップグレード前に回避策を完了します。次に、環境に特有なインストールおよびアップグレードの問題を確認します。

Java Runtime Environment のインストール

Oracle Java Runtime Environment (JRE) を使用する場合は、Hub コンソールを起動するマシンに JRE 1.8 のアップデート 144 以降をインストールします。Hub コンソールのバッチビューアには、JRE 1.8 のアップデート 144 以降が必要です。

(MDM-18910)

アップグレード前のサブジェクト領域名の更新

サブジェクト領域名の先頭が数字でないことを確認します。サブジェクト領域名の先頭が数字の場合は、名前を変更して先頭を英字にします。サブジェクト領域名の先頭が数字の場合は、MDM Hub によって生成されるビジネスエンティティ設定によりリポジトリマネージャ検証エラーが発生します。ビジネスエンティティ設定を使用しない場合は、先頭が数字であるサブジェクト領域名を引き続き使用できます。(HORA-51906)

英語以外の環境での Hub サーバーのインストール

英語以外の言語で MDM Hub をインストールし、JDK 1.8 以降を使用すると、Hub サーバーのインストーラの起動に失敗します。

回避策: インストーラを起動するには、コマンドプロンプトを開き、Hub サーバーのインストールディレクトリに移動して、次のコマンドを入力します。

```
hub_install.exe -l <language code>
```

ここで、<language code>は優先言語です。言語コードは、言語が以下のいずれかである場合に使用します。

言語	言語コード
ポルトガル語	pt_BR
フランス語	fr
ドイツ語	de
日本語	ja
韓国語	ko
ロシア語	ru
簡体字中国語	zh_CN
スペイン語	es

(MDM-14224)

前提条件の検証をしない Hub サーバーインストール

前提条件の検証なしで Hub サーバーのインストーラを実行する場合、データベースパスワードのプロンプトにダミーの値が必要です。

1. 前提条件の検証なしで Hub サーバーのインストーラを起動するには、以下のコマンドを実行します。
`hub_install.bin -DSIPERIAN_INSTALL_PREREQ_VALIDATION=false`
2. データベースパスワードが要求されたら、ダミーの値を入力します。
インストールが続行されます。ダミーの値を指定しないと、インストールが失敗します。(MDM-10975)

エンティティ 360 表示のアップグレードインストール

Hub サーバーをアップグレードする際、タイムアウトエラーのために entity360view.ear がインストールできないことがあります。

回避策: インストールコンポーネント、patchInstallSetup または postInstallSetup を再実行します。

または、<MDM Hub installation directory>/hub/server/bin フォルダから次のコマンドを実行します。

```
./sip_ant.sh -Dentity360view.ear.dodeploy=true deploy.entity360view-ear
```

(HORA-52008)

Apple Single Sign-On はサポートされない

このバージョンの Informatica MDM Multidomain Edition では、Informatica Data Director と Apple SSO は連動しません。(MDM-6906)

IBM 環境

次の問題は、Multidomain MDM が IBM AIX、IBM DB2 または IBM WebSphere とともにインストールされる
ときに影響を与えます。

IBM AIX オペレーティングシステムにおける JBoss 環境での MDM Multidomain Edition のインストール

IBM AIX オペレーティングシステムにおける JBoss 環境での MDM Multidomain Edition には既知の問題があ
ります。環境でこの組み合わせを使用する場合、MDM Multidomain Edition をインストールする前に
Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせてください。

(MDM-8661)

IBM AIX 環境でのバージョン 10.1 HotFix 2 からの Hub サーバーの アップグレード

IBM AIX 環境で Hub サーバーをバージョン 10.1 HotFix 2 からアップグレードすると、entity360view.ear ファ
イルのデプロイに失敗する。

回避策: patchInstallSetup.sh スクリプトを手動で実行します。スクリプトの実行の詳細については、
*Multidomain MDM のアップグレードガイド*を参照してください。

(MDM-14777)

IBM DB2 環境での埋め込み ActiveVOS のアップグレード

IBM DB2 環境では、アップグレード前に、ActiveVOS データベース接続プロパティを<MDM Hub installation
directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/server/bin の build.properties ファイルに追加します。

次のサンプルは、サンプルエントリが含まれる ActiveVOS データベース接続プロパティを示しています。

```
activevos.db.type=db2
activevos.db.server=localhost
activevos.db.port=50000
activevos.db.user=AVOS
activevos.db.dbname=INFA102
activevos.db.schemaname=AVOS
activevos.db.jdbc.url=jdbc:db2://localhost:50000/INFA102
activevos.b4p.url=http://localhost:9080/active-bpel/services/AeB4PTaskClient-task0perations
```

(MDM-13104)

IBM DB2 での一致ポピュレーションの有効化

IBM DB2 環境にプロセスサーバーをインストール後、マッチルールで使用する一致ポピュレーションを有効化
する必要があります。一致ポピュレーションを有効化する手順については、Informatica グローバルカスタマ
サポートにお問い合わせください。(HORA-52288)

Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境でのアップグレ ード

Java 8 を実行している WebSphere IBM DB2 環境で MDM Hub をアップグレードした後に、Hub コンソール
が起動しない。

回避策: クライアントマシンで Java 7 を使用します。

(MDM-12036)

WebSphere クラスタ環境での ActiveVOS のインストール

WebSphere クラスタ環境で埋め込み ActiveVOS をインストールすると、ActiveVOS コンソールの MDM ID サービスプロバイダに接続できなくなります。

回避策: Hub サーバー、埋め込み ActiveVOS、プロセスサーバーのインストール後に、以下の手順を実行します。

1. ActiveVOS の install.properties ファイルで、install.web.application を false に設定します。
2. ActiveVOS インストールディレクトリの deployer.xml ファイルで、次のコードをコメントアウトします。

```
<!-- <target name="deploy.resources" depends="deploy.timer.manager,deploy.work.manager"/>
<target name="deploy.timer.manager">
  <echo message="$
  {basedir}"/>

  <run.wsadmin script="$ {basedir}
  /scripts/timermanager.jacl"/>
</target>
<target name="deploy.work.manager">
  <run.wsadmin script="$
  {basedir}/scripts/workmanager.jacl"/>

  <run.wsadmin script="$ {basedir}
  /scripts/systemworkmanager.jacl"/>
</target>
<target name="deploy.jaas">
  <run.wsadmin script="$
  {basedir}/scripts/jaaslogin.jacl"/>

</target>

<target name="deploy.apps">

  <run.wsadmin script="$ {basedir}
  /scripts/installapp.jacl"/>
</target> -->
```

3. <MDM installation directory>/hub/server/bin ディレクトリで、次のコマンドを実行します。
sip_ant.bat deploy_mdm_identity_resolution
sip_ant.bat deploy_avos_server
4. ActiveVOS EAR ファイルをデプロイします。EAR ファイルのデプロイの詳細については、*Multidomain MDM のインストールガイド*を参照してください。

(MDM-13269)

Linux 環境での WebSphere バージョン 8.5.5.9 へのプロセスサーバーのインストール

プロセスサーバー EAR ファイルをデプロイすると、次のエラーが発生する場合があります。

Too many open files. Unable to start cleanse ear.

回避策: Linux で ulimit パラメータの値を大きくします。

(MDM-13618)

プロセスサーバーのインストールおよびアップグレード

Linux 環境の WebSphere に MDM Multidomain Edition for IBM DB2 のインストールまたはアップグレードを行うと、postInstallSetup スクリプトが javax.management.MBeanException エラーで失敗することがある。

postInstallSetup スクリプトが失敗した場合、次のタスクを実行します。

- ▶ WebSphere を停止して起動する。

プロセスサーバーが起動します。

(MDM-10850)

Oracle 環境

以下の問題は、Multidomain MDM が Oracle データベースまたは Oracle WebLogic とともにインストールされる場合に影響を与えます。

WebLogic Server 認証の無効化

MDM Hub は、WebLogic Server 認証を無効にする必要がある HTTP 基本認証を使用します。WebLogic Server 認証を無効にするには、config.xml ファイルを編集します。

1. 次の WebLogic ディレクトリに移動します。

```
<WebLogic installation directory: Weblogic のインストールディレクトリ>/user_projects/domains/<user domain>/config
```

2. テキストエディタで config.xml ファイルを開きます。

3. <security-configuration>要素内に次の要素を追加します。

```
<enforce-valid-basic-auth-credentials>
false
</enforce-valid-basic-auth-credentials>
```

コンソールモードでの Oracle 環境への Hub サーバーのインストール

コンソールモードで Oracle 環境に Hub サーバーをインストールするための、インストール前のサマリに詳細が記載されていません。Informatica プラットフォームをインストールしないことを選択すると、サマリの「Informatica プラットフォームのインストールの見出し」に、[No] でなく空白が表示されます。

(HORA-51944)

Oracle 環境でのバージョン 9.5.1 からのアップグレード

Oracle 環境で Hub サーバーをバージョン 9.5.1 からアップグレードする場合、アップグレードは正常に完了しますが、ログに次のエラーが記録されます。

```
19:26:22,012 INFO ImporterRole:44 - ddl: CREATE ROLE PROXY_ROLE ORA-01031: 特権が不足しています
```

このエラーは無視しても問題ありません。(HORA-51980)

Oracle および JBoss 環境でのバージョン 9.7.1 からの Hub サーバーのアップグレード

バージョン 9.7.1 からアップグレードする場合、ActiveVOS のデータソースの作成中にアップグレードに失敗します。

回避策: <JBoss installation directory>/standalone/configuration/standalone-full.xml ファイルを開き、ActiveVOS データソースおよび JDBC ドライバを指定するコード行をコメントアウトします。(MDM-8616)

Oracle WebLogic 12.2.1.3 以降

Oracle WebLogic バージョン 12.2.1.3 を Multidomain MDM バージョン 10.3 とともに使用する場合、既知の制限事項に対処するために、次の追加の手順が必要です。

WebLogic 12.2.1.3 以降へのパッチの適用

WebLogic 12.2.1.3 環境に次のパッチが含まれていることを確認します。p26923558_122130_Generic.zip (MDM-18967)

WebLogic 12.2.1.3 以降用の Java 仮想マシンの設定

Java 仮想マシン (JVM) を設定するには、JAVA_OPTIONS 環境変数を使用して、Java のオプションを設定します。

Java のオプションは、次のファイルで設定できます。

UNIX の場合: <WebLogic domain: WebLogic ドメイン>/bin/setDomainEnv.sh

Windows の場合: <WebLogic domain: WebLogic ドメイン>\bin\setDomainEnv.cmd

次の表で、Java のオプションを説明します。

Java のオプション	説明
-Djavax.wsdl.factory.WSDLFactory	デフォルトの名前空間のプレフィックスを含むサービス WSDL を呼び出す必要があります。 次の値を設定します。com.ibm.wsdl.factory.WSDLFactoryImpl
-DANTLR_USE_DIRECT_CLASS_LOADING	MDM Hub がデプロイされた WebLogic Server を起動する必要があります。true に設定します。

Hub サーバーのビルドプロパティの更新

Hub サーバーの build.properties ファイルを編集して次のプロパティを設定します。

weblogic.version=10.x

(MDM-22366)

リソースキットの.ear ファイルのデプロイ

リソースキットをインストールする場合、.ear ファイルは自動的にデプロイされません。sip_ant スクリプトのクラスパスを編集し、インストール後スクリプトを実行して、.ear ファイルを WebLogic 管理コンソールからデプロイします。

注: 以下の手順例では、.sh ファイルを参照し、UNIX システムの構文を使用します。

1. インストール後に失敗した場合、次のディレクトリに移動します。
<MDM Hub installation directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/server/resourcekit/bin
2. sip_ant.sh ファイルを開きます。

3. 次のテキストを探して削除します。\$WLS_CLASSPATH:

```
$JAVA_HOME/jre/bin/java \  
$USER_INSTALL_PROP \  
-Xmx512m -classpath \  
$SIP_HOME/deploy/lib/ant.jar:$SIP_HOME/deploy/lib/ant-launcher.jar:$SIP_HOME/deploy/lib/ant-nodeps.jar:  
$WLS_CLASSPATH  
\  
org.apache.tools.ant.Main \  
$PARAM
```

4. ファイルを保存します。
5. を実行。/postinstall.sh -Dweblogic.password=<password>。
プロセスは生成された.ear ファイルを次の場所に保存します。 <MDM Hub installation directory: MDM Hub のインストールディレクトリ>/hub/serverresourcekit/bin/deploy/deployed_ears。
6. WebLogic 管理コンソールを開き、生成された.ear ファイルをデプロイします。
(MDM-22847)

WebLogic サーバー 12.1.3 への Hub サーバーのインストール

WebLogic Server 12.1.3 をインストールする場合は、必ず JDK 8 update 20 を使用してください。

Hub サーバーを WebLogic サーバー 12.1.3 にインストールする場合、次のいずれかのインストールオプションを検討してください。

- WebLogic サーバー 12.1.3 がインストールされているディスクドライブに Hub サーバーをインストールする。
- Hub サーバーと WebLogic サーバー 12.1.3 を別々のディスクドライブにインストールするが、Hub サーバーインストールディスクドライブに、WebLogic サーバー 12.1.3 インストールディスクドライブへの参照を含むシンボリックリンクを作成する。

Hub サーバーを WebLogic サーバー 12.1.3 とは異なるディスクドライブにインストールする場合、postInstallSetup および patchInstallSetup スクリプトは失敗します。

(MDM-8032)

(MDM-12784)

WebLogic クラスタでの Hub サーバーのインストール後のタスク

管理対象サーバーのみへのデプロイメントで Hub サーバーを WebLogic クラスタ環境にインストールする場合、インストール後にデータソースを手動で作成します。(MDM-10636)

英語以外の Oracle および JBoss 環境での PostInstallSetup スクリプトの実行

英語以外のロケールで Oracle および JBoss の環境にインストールすると、インストールプロセス中は postInstallSetup スクリプトが実行されない。

回避策: インストール後に postInstallSetup スクリプトを実行して、EAR ファイルをデプロイします。詳細については、『*Multidomain MDM のインストールガイド*』を参照してください。(MDM-8731)

JBoss 環境

次の問題は、Multidomain MDM が JBoss およびデータベース環境とともにインストールされるときに影響を与えます。

JBoss 環境での Hub サーバーのインストール

JBoss 環境で Hub サーバー EAR ファイルをデプロイすると、例外 `concurrent.RejectedExecutionException` が発生してデプロイメントが失敗する場合があります。

回避策: `standalone-full.xml` ファイルでタスクキューの長さを長くします。次のサンプルは、変更する `queue-length count` パラメータを示しています。

```
<long-running-threads>
  <core-threads count="50"/>
  <queue-length count="300"/>
  <max-threads count="50"/>
  <keepalive-time time="10" unit="seconds"/>
</long-running-threads>
```

(MDM-13340)

JBoss クラスタでのオペレーショナル参照ストアの登録

JBoss クラスタ環境でオペレーショナル参照ストアを登録できるようにするには、`standalone-full.xml` ファイルで `<datasources>` 定義を設定します。

1. 次のディレクトリにある `standalone-full.xml` ファイルを開きます。
 `<JBoss Installation Directory>/standalone/configuration`
2. `<datasources>` 定義を設定して変更内容を保存します。

(MDM-10952)

HP-UX、Linux および Solaris 環境

次の問題は、Multidomain MDM が HP-UX、Linux または Solaris オペレーティングシステムにインストールされるときに影響を与えます。

Solaris 環境および HP-UX 環境での Informatica プラットフォームのサポート

MDM Multidomain Edition と Informatica プラットフォームの組み合わせを Solaris 環境および HP-UX 環境で使用することはできません。(MDM-14971)

HP-UX での Hub サーバーのインストール

HP-UX 環境で Hub サーバーをインストールすると、`postInstallSetup` スクリプトが失敗します。

回避策: インストールが失敗した後で、`postinstallsetup` スクリプトを手動で実行します。または、インストールプロセス中に `postinstallsetup` スクリプトを実行するよう要求されたときに、`postInstallSetup` スクリプトを後で実行することを選択します。後で、`postinstallsetup` スクリプトを手動で実行します。(MDM-11092)

サイレントモードでのリソースキットのインストール

リソースキットのサイレントインストールが Linux 環境で失敗する。

回避策: グラフィカルモードまたはコンソールモードでリソースキットをインストールします。(MDM-10803)

インストールまたはアップグレード後の手順

既知の制限事項の中には、インストールまたはアップグレードの実行に影響を与える可能性のあるものもあります。発生する可能性のある問題を回避するには、次の問題を確認し、アップグレード後に回避策を完了します。

オペレーショナル参照ストアのアップグレード

オペレーショナル参照ストアをアップグレードすると、アップグレードは成功するが、次のエラーが sip_ant ログに表示されます。

```
[exec] CREATE SEQUENCE "C_REPOS_ZDT_EVENT_SEQ" MINVALUE 1 MAXVALUE 999999999999999999  
        INCREMENT BY 1 START WITH 1 CACHE 20 NOORDER CYCLE  
[exec] *  
[exec] ERROR at line 1:  
[exec] ORA-00955: name is already used by an existing object  
[exec]
```

回避策: このエラーは無視しても問題ありません。

(MDM-14070)

変更リスト昇格

変更リストを空のオペレーショナルリファレンスストアに昇格させるには、MDM Hub によって外部マッチ入力テーブルに追加されるマッチカラムの長さが 4000 以下である必要があります。マッチカラムの長さは、マッチカラムのソースであるすべてのベースオブジェクトのカラムの長さの合計です。

マッチカラムの合計長が 4000 を超える場合、変更リスト昇格は失敗し、以下のエラーが表示されます。

ORA-00910: specified length too long for its datatype

(HORA-52116)

プロセスサーバーのスマート検索用プロパティ

MDM Hub をアップグレードしても、デフォルトでは <MDM Hub installation directory>\hub\cleanse\resources\cmxcleanse.properties ファイルにプロセスサーバーの次のスマート検索用プロパティが含まれません。

cmx.ss.enabled

スマート検索を有効にするかどうかを示します。スマート検索を有効にする場合は、true に設定します。スマート検索を無効化する場合は、false に設定します。

zookeeper.tickTime

1 つのティックのミリ秒単位での長さ。ZooKeeper はティックを基本時間単位として使用して、タイムアウトを調整します。デフォルトは 2,000 ms です。

search.provisioning.maxshards

オプション。検索データのインデックス処理時に、単一の Apache Solr インスタンスで作成できるデータのコピーの最大数を示します。デフォルトは 1 です。

この問題を回避するには、cmxcleanse.properties ファイルに手動でプロパティを追加します。

スマート検索の設定に関する詳細については、『*Informatica MDM Multidomain Edition 設定ガイド*』を参照してください。(HORA-51676)

スマート検索のための URI エンコーディング

MDM Hub をアップグレードした後、スマート検索が正しく機能するように、URI エンコーディングを UTF-8 に設定します。

Java 仮想マシンの構成方法の詳細については、『*Informatica MDM Multidomain Edition インストールガイド*』を参照してください。

(MDM-16058)

ローカライズされたスキーマの更新

アップグレード前のスキーマにローカライズされたルックアップテーブルが含まれる場合、アップグレード後に検証エラーが表示されることがあります。

バージョン 10.2.x でローカライズされたルックアップテーブルの場合、メタデータの検証プロセスは次のタイプのエラーを生成します。

SIP-MV-22000 The name attribute for DB bundle [<lookup table name>.dbBundleMapping] is not defined in the configuration

回避策：

1. dbBundleConfig.xml ファイルを C_REPOS_CO_CS_CONFIG リポジトリテーブルからダウンロードします。
2. dbBundleConfig.xml ファイルで、name=<lookup table name>パラメータを bundle 要素から mapping 要素にコピーします。

例えば、次のスニペットでは編集された mapping 要素を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<dbBundleConfiguration xmlns="http://www.example.com/mdm/db-bundle-configuration">
  <bundle name="LUCountry" hubObject="C_LU_COUNTRY_LCL">
    <mapping name="LUCountry" keyColumn="COUNTRY_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE"
      languageColumn="LANGUAGE_CODE" valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>
  </bundle>
  <bundle name="LUState" hubObject="C_LU_STATE_LCL">
    <mapping name="LUState" keyColumn="STATE_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE" languageColumn="LANGUAGE_CODE"
      valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>
  </bundle>
  <bundle name="LUCountry.LUState" hubObject="C_LU_STATE_LCL">
    <mapping name="LUCountry.LUState" keyColumn="STATE_CD" countryColumn="COUNTRY_CODE"
      languageColumn="LANGUAGE_CODE" valueColumn="LOCALIZED_STRING"/>
  </bundle>
</dbBundleConfiguration>
```

3. 編集された dbBundleConfig.xml ファイルを C_REPOS_CO_CS_CONFIG リポジトリテーブルにアップロードします。
4. メタデータの検証を実行します。

(MDM-21752)

Amazon Web サービスにホストされる Multidomain MDM

Informatica Cloud ホスティングサービスが Amazon Web Services (AWS) で Multidomain MDM のインスタンスを管理する場合、次の問題を確認してください。

ActiveVOS マルチテナントモード (Amazon Web サービスの MDM Multidomain Edition)

Informatica Cloud ホスティングサービスが AWS で MDM Multidomain Edition のインスタンスを管理する場合、URL には顧客 ID が含まれます。ActiveVOS マルチテナント機能には、URL の変更に関する制限があります。

回避策: BE ActiveVOS ワークフローアダプタを使用し、ユーザーを TenantGroup ロールに追加します。

(MDM-15600)

第 3 章

バージョン 10.3

この章では、以下の項目について説明します。

- [解消された制限事項, 18 ページ](#)
- [実装された拡張要求, 24 ページ](#)
- [既知の制限事項, 25 ページ](#)

解消された制限事項

MDM Hub で解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21652	解消されたセキュリティの問題。
MDM-20972	XREF レコードを削除すると、HMRG テーブルが正常に更新されず、マージ解消エラーの原因となる。
MDM-20854	IBM DB2 環境で、階層マネージャを有効にすると、DB2 エラーで失敗する。
MDM-20068	親レコードのマージ解消後、親子リレーションテーブルの外部キーカラムが、子レコードの ROWID_OBJECT ではなく、子レコードの ROWID_XREF を指すように更新される。この問題は、子レコードに親レコードの ROWID_XREF を指す相互参照レコードが含まれる場合に発生します。
MDM-19967	Hub コンソールで変更を昇格するとき、昇格プロセスが想定よりも遅くなる。
MDM-19739	IBM DB2 環境で、外部照合を実行すると、照合が DB2 エラーで失敗する。
MDM-19684	長い auth_payload 値が生成され、ラインフィードが含まれる場合に、auth_payload 値をカスタムロギングプロバイダで使用すると、エラーが発生する。
MDM-19681	次の条件が当てはまる場合でも、NULL 値がベースオブジェクトレコードに書き込まれない。 <ul style="list-style-type: none">- ステージングテーブルカラムの【NULL の更新を許可する】プロパティが有効です。- NULL 値はステージングテーブルカラム内で最も信頼された値です。

参照番号	説明
MDM-19658	特定のステージングテーブルカラムで有効化された差分検出を含むステージジョブを実行すると、すべてのレコードが RAW テーブルに書き込まれない場合がある。 PKEY_SRC_OBJECT ステージングテーブルカラムにマップされているカラム内に NULL 値を持つレコードがスキップされます。
MDM-19651	IBM DB2 環境で、ベースオブジェクトカラムを削除すると、パフォーマンスが低下する。
MDM-19650	IBM DB2 環境で、ベースオブジェクトカラムを削除すると、パフォーマンスが低下する。
MDM-19645	Hub コンソールで、エンタープライズマネージャまたは Repository Manager を使用すると、ロールの取得時に NULL ポインタ例外が生成される。
MDM-19643	Parse Float データ変換クレンジング関数で、数値文字列データを float データに変換できない。
MDM-19644	Delete BO データイベントと Delete XREF データイベントのメッセージトリガを有効にすると、論理削除バッチロード操作中にメッセージが生成されない。
MDM-19174	MDM Hub カラムプロパティを設定する場合、デフォルト値を指定せずに NULL 値以外のカラムのカラム設定を保存しても、MDM Hub で検証エラーが生成されない。
MDM-19051	WebLogic 12.2.1.3.0 のインフラストラクチャバージョンで、siperian-mrm.ear ファイルの展開に失敗し、次のエラーが表示される。 weblogic.management.DeploymentException: java.lang.IncompatibleClassChangeError: Implementing class
MDM-18948	ロードプロセスでリレーションベースオブジェクトにレコードを挿入すると、親レコードが未処理としてマークされない場合がある。この問題は、親ベースオブジェクトに子ベースオブジェクトとの一致カラムがある場合に発生します。ロードプロセスでは、ベースオブジェクトに関連付けられた未処理のテーブルにレコードの ROWID_OBJECT 値は挿入されません。
MDM-18785	スマート検索で、複数の単語の検索用語を使用する場合、1 つの単語が欠落しているレコードは検索結果から除外される。
MDM-18372 および MDM-18435	Hub コンソールのログインページで、誤ったユーザー名またはパスワードが入力されると、次の不明確なエラーメッセージが表示される。 SIP-09070: SIP-18017: Error occurred during user authentication, error was {0} java.lang.NullPointerException
MDM-18354	IBM DB2 環境で、4 つ以上のベースオブジェクトカラムを削除すると、トランザクションがタイムアウトになる場合がある。
MDM-18327	1 つのベースオブジェクトに関連付けられた複数の相互参照レコードを更新すると、読み込み後のユーザーイグジットに送られる相互参照レコードが 1 つだけである。
MDM-17881	無効なユーザークレデンシャルを使用して Hub コンソールにログインするまたは SIF を使用して認証すると、NULL ポインタ例外が発生する。
MDM-17367	localhost を使用してサーバーのキャッシュを初期化するときに、クラスタ化アプリケーションサーバー環境での localhost の使用はキャッシュ関連のパフォーマンスの問題を引き起こすと警告されない。

参照番号	説明
MDM-16433	次の条件が当てはまる場合でも、NULL 値がベースオブジェクトレコードに書き込まれない。 - ステージングテーブルカラムの【NULL の更新を許可する】プロパティが有効です。 - NULL 値はステージングテーブルカラム内で最も信頼された値です。
MDM-8723	コンソールモードで Hub サーバーをインストールしている間に ActiveVOS をインストールする場合、サービス接続タイプを選択するときに不正なプロンプトが表示される。
MDM-6187	MDM Hub は MTCH テーブルの ssaName3 からのマッチ率を保存しない。

Data Director で解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21160	タスクを開いた後、更新したデータを表示できない。
MDM-20965	パッケージに 2 番目のパッケージへの結合が含まれている場合、最初のパッケージのクエリが失敗する。
MDM-20888	解消されたセキュリティの問題。
MDM-20752	【履歴】 ビューで使用されるデフォルトのカレンダー形式を変更できない。
MDM-20664	大文字のユーザー名のユーザーではタスクアクションが無効になる。
MDM-20162	ビジネスエンティティがサブジェクト領域グループから正常に生成されない。
MDM-19984	【クエリ】 パネルで、最初のタブが選択した UI 言語ではなく英語で表示される。
MDM-19851	@を含むハイパーリンクを追加すると、Data Director でテキストが正常に解析されず、誤ったハイパーリンクが保存される。
MDM-19849	【データ】 ビューで、【重複の検索】を使用すると、想定以上にパフォーマンスが遅くなる。
MDM-19845	検索パッケージが、選択した有効期間に対して正しくない子レコードを返す。 この問題は、次の状況の場合に発生します。 - サブジェクト領域について構成されている検索パッケージは、親と子の基本オブジェクトを結合する表示パッケージである。 - 検索パッケージが結合する親と子の基本オブジェクトは、タイムラインが有効になっている。
MDM-19816	検索結果をソートしてから、ソートされたレコードをエクスポートすると、エクスポートされた CSV ファイルに重複レコードが含まれる。 検索に複数のテーブルが含まれる場合、ローカルのテーブル名をプレフィックスとしてソートカラムに含め、ソート順 (DESC ASC) を指定する必要があります。例えば、ローカルのテーブル名が B0 で、カラム LNAME の降順でソートする場合、次の形式を使用します。 <urn:sortCriteria>B0.LNAME DESC</urn:sortCriteria>
MDM-19657	追加のワークスペースタブを設定すると、タブのタイトルが正しく表示されない可能性がある。

参照番号	説明
MDM-19785	シングルサインオン認証の環境で、ユーザー名にバックスラッシュ (\) が含まれるユーザーは Data Director にログインできない。
MDM-19656	大文字と小文字を区別しないクエリ検索を有効にすると、検索クエリのパフォーマンスが低下する。
MDM-19655	Microsoft Internet Explorer でプロビジョニングツールを開くと、変更をパブリッシュできない。
MDM-19647	シングルサインオン (SSO) を使用してログインした場合、タスクマネージャにアクセスできない。
MDM-19641	【履歴】ビューに、タイムラインが有効なベースオブジェクトレコードの正しくないデータが表示される。
MDM-19640	サブジェクト領域に同じ名前の複数の孫サブジェクト領域がある場合、生成されるビジネスエンティティスキーマが SIP-MV-17006 および SIP-MV-17005 メタデータ検証エラーで失敗する。
MDM-19642	マージのプレビューで、インラインクレンジング関数のクレンジング要求が多すぎるため、パフォーマンスの問題が発生する。
MDM-19636	Hub サーバプロパティの http-only および cookie-secure が機能しない。
MDM-19368	ログインすると、現在のユーザーのタスクがあるすべてのサブジェクト領域の長いタイトルがダッシュボードに表示される。 修正: 優先されるデフォルトのタイトルを表示するには、cmx.server.override_orstitle プロパティを cmxserver.properties ファイルの優先タイトルに設定します。
MDM-19176	関連するルックアップフィールドを持つレコードを【相互参照レコード】ビューで開けない。
MDM-19086	次のビジネスエンティティビュー設定のシナリオを使用すると、ビジネスエンティティ間のトランスフォーメーションが失敗する。 - ビジネスエンティティビューの子ノードには、親ノードとの間に 1 対多のリレーションがある。 - 親ノードは、ビジネスエンティティビューのルートノードではなく、その親と 1 対 1 のリレーションがある。
MDM-19049	rowid_object カラムなしで検索可能なルックアップを作成してリレーションを定義する場合、ビジネスエンティティスキーマが Data Director アプリケーションに対応するカラムを生成しない。
MDM-19021	ActiveVOS がワークフローエンジンの場合、同じ期限を持つ多数のタスクをフィルタ処理しようするとフィルタが失敗する。
MDM-18947	【エクスポート】ダイアログボックスで、サブジェクト領域名がローカライズされていない。
MDM-18822	Microsoft Excel でデータインポート結果ファイルを開くと、マルチバイト文字が正しく表示されない。
MDM-18816	40 を超える値を持つルックアップリストを含むカラムをソートすると、ソートが失敗する。
MDM-18794	レコードの REST API 要求に有効日が含まれる場合、NULL ポインタ例外エラーが発生することがある。
MDM-18679	マージタスクを実行すると、想定以上にパフォーマンスが遅くなる。

参照番号	説明
MDM-18635	ビジネスエンティティを使用する Data Director アプリケーションで、 【閉じる】 アイコンがユーザーインタフェースタブに表示されない。
MDM-18564	ルックアップフィールドが 【一致するレコード】 ビューに表示されず、 【履歴】 ビューと 【相互参照レコード】 ビューではルックアップフィールドに正しくない値のリストが表示される。
MDM-18522	サブジェクト領域の子が孫レコードと 1 対 1 のリレーションを持っている場合、すべての検索結果をエクスポートすることができない。
MDM-18497	Get API 呼出しを作成して、子レコード内の、データが含まれていない有効日のデータを取得すると、要求はエラーを返す。
MDM-18434	エイリアスを含むルックアップカラムが高度な検索クエリに含まれていると、検索結果にルックアップフィールドの値が含まれない。
MDM-18415	親ベースオブジェクト内の外部キーカラムに対する更新権限がない場合、Put 要求が子ベースオブジェクト内のカラムの更新に失敗する。
MDM-18408	【重複の検索】 プロセスが子レコードレベルで誤った一致を返す。
MDM-18406	【データ】 ビューで、指定したカラムの長さを超える検索条件を使用して検索クエリを実行すると、次のエラーが発生してクエリが失敗する。 SIP-14150: Data access failure in searchQuery.
MDM-18263	【階層】 ビューで、管理者特権を持たないユーザーがレコードの 【詳細】 をクリックすると、管理ユーザーが確認できるすべてのデータが表示されない可能性がある。この問題は、サブパッケージがクエリパッケージで使用されている場合に発生します。
MDM-18212	タスクの基になっているサブジェクト領域の一部でない子または孫を持つタスクを承認しようとすると、楽天的ロックの失敗によって承認プロセスが失敗する。
MDM-18211	ユーザー設定のページサイズが 0 に設定されている場合、検索結果が表示されない。
MDM-18197	【検索】 ページのサイズを変更できない。
MDM-18175	カスタム画面が Data Director に表示されない。
MDM-18069	MDM Hub マシン、JVM、およびデータベースに対してフランス語ロケールが設定されている場合、いくつかの数値形式が正しく保存されない。次のエラーが発生する可能性がある。 java.lang.NumberFormatException
MDM-18067	【履歴】 ビューでレコードを更新すると、長い表示名が正しく表示されない。
MDM-17965	レコードを更新し、変更を取り消すと、NULL ポインタ例外が発生する可能性がある。
MDM-17783	Informatica Data Director でマージ解除タスクを作成すると、マージ解除操作は次のエラーで失敗する。 com.informatica.mdm.api.unmerge.Unmerge: SIP-10228: No record found for the specified RecordKey
MDM-17763	類似したレコードが存在する場合でも、類似するレコードコンポーネントが空になる。
MDM-17756	ワークフロー管理に ActiveVOS を使用すると、すべてのタスク操作の実行に想定よりも時間がかかる。

参照番号	説明
MDM-17675	【一致するレコード】ビューに、ページナビゲーションコンポーネントがない。
MDM-17203	【承認】 または 【拒否】 などのタスクアクションを実行するときに、コメントの追加を要求される。
MDM-17128	【言語の変更】 オプションを使用して言語を変更する場合、【ログアウト】 オプションが選択した言語で表示されない。
MDM-17038	【新規】 ウィンドウのオプションがアルファベット順に表示されない。
MDM-17037	【検索】 ボックスのリストに多くのビジネスエンティティタイプがある場合、一部のエンティティタイプが表示されないことがある。
MDM-16931	Internet Explorer で、【ビジネスエンティティ】 ビューにレコードを表示する場合、【編集】 および 【削除】 アイコンがビジネスエンティティの参照フィールドに表示されない。
MDM-16440	【タスクの詳細】 ダイアログボックスを開き、コメントを追加してから、タスクを再割り当てすると、コメントが保存されない。
MDM-16146	検索を実行するときに、エラーメッセージが検索結果の上に表示される。この問題は、Data Director アプリケーションが LDAP を使用してユーザーを認証するときに発生します。
MDM-13701	タスクインボックスで、タスクの横に表示されるチェックボックスが、一括タスクアクションを実行できると提案する。

プロビジョニングツールで解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21116	サブジェクト領域をビジネスエンティティに変換する場合、ジェネレータがキーワードをフィールド名として処理できない。
MDM-20895	ビジネスエンティティを外部呼び出しで設定する場合、Data Director 内のそのビジネスエンティティに基づくレコードを正常に作成できない。
MDM-19679	サブジェクト領域の設定からビジネスエンティティを生成すると、次のシナリオでエラーが発生することがある。 <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスエンティティ間に、多対多のリレーションが存在する。 - リレーションに、ルートノードではない「From」ノードがある。
MDM-14443	XML からビジネスエンティティへのトランスフォーメーションで、複数の XML ノードから単一のオブジェクトにデータをマップできない。

SIF API の解消された制限事項（10.3）

以下の表に解消された制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-20884	解消されたセキュリティの問題。
MDM-19678	Promote API 呼び出しが、SIF 要求で指定された保留中の相互参照レコードのフィールドのみを更新するのではなく、レコード内のすべてのフィールドを更新する。 MDM Hub が SIF 要求の一部であるフィールドにのみ BVT 計算を適用するように指定するには、cmxserver.properties ファイルで cmx.server.selective.bvt.enabled プロパティを true に設定します。
MDM-19677	エラーが Hub サーバログに記録されていても、ExecuteBatchAutoMatchandMerge API 呼び出しがエラーメッセージを返さない。
MDM-19653	JBoss 環境で、サービス統合フレームワーク（SIF）を使用して MDM Hub 操作を実行する場合、メモリ不足エラーが発生することがある。
MDM-19639	CleansePut API 呼び出しで正しい相互参照レコードを持つ子外部キーが更新されない。
MDM-19635	複数結合バッチジョブを実行する SIF API 呼び出しが失敗し、次のエラーが表示される。 SIP-23038: Internal error.The SQL statement generated the SQL error ORA-12899: value too large for column
MDM-18539	XREF およびベースオブジェクトテーブルを使用するプロビジョニング対応ベースオブジェクトに対して API 呼び出しを作成すると、要求は失敗してエラーを生成します。
MDM-18238	クレンジング関数呼び出しがエラーで失敗する。
MDM-18165	PromotePendingXrefs API 要求で、ROWID_XREF 値をレコード ID として使用すると、子サブジェクト領域レコードが昇格しない。
MDM-18154	CleansePut API 呼び出しを使用してレコードを追加すると、検索を使用してレコードを見つけない。

実装された拡張要求

MDM Hub に実装された拡張要求（10.3）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-17859	Oracle WebLogic T3S プロトコルのサポートが追加されました。プロトコルの設定の詳細は、 <i>Multidomain MDM のセキュリティガイド</i> を参照してください。
MDM-16652	外部一致出力テーブルでマッチ率を表示することができます。

Data Director に実装された拡張要求（10.3）

以下の表に実装された拡張要求を示します。

参照番号	説明
MDM-19515	サブジェクト領域のビューで、値が固定幅フォントで表示され、空白が維持される。
MDM-18280	タスクの優先順位を付けるために、【ホーム】 ページのタスクインボックスに、次のカラムが含まれる。 <ul style="list-style-type: none">- 作成日。タスクが作成された日付が表示されます。- 所有者。タスクの現在の所有者が表示されます。
MDM-16819	プロビジョニングツールで、Data Director アプリケーションに必須な添付やコメントを作成できる。

既知の制限事項

MDM Hub の既知の制限事項（10.3）

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22756	HTTPS プロトコルでサポートツールを実行する場合、照合分析ツールから【CSM】 タブに移動すると、エラーが発生する。
MDM-22777	ルックアップカラムを表示するように検索結果をカスタマイズし、ルックアップカラムを含むパッケージに値がない状態で検索を実行すると、検索結果にルックアップカラムが表示されない。
MDM-22691	親レコードと子レコードを照合する照合ジョブを実行すると、ActiveVOS コンソールのマージタスクは親レコードではなく子レコードを参照する。
MDM-22528	クレンジングトランスフォーメーションマッピングからパラメータを削除して変更を適用すると、パラメータをマッピングに追加できない。
MDM-22255	ベースオブジェクトデータの削除イベントと子テーブルでの XREF データの削除イベントのメッセージトリガを有効にすると、論理削除バッチロード操作中にメッセージが生成されない。
MDM-22143	Multidomain MDM 10.3 for IBM DB2 と Dynamic Data Masking 9.8.4 を統合して、DB2 用のセキュリティルールセットを作成すると、影響を受けるマスターデータがマスクされない。
MDM-21986	自動マージプロセス中に前方一致レコードが作成されると、プロセスの実行が遅くなる可能性がある。
MDM-21984	MdmKeyStore クラスを使用するときに、ファイル記述子のリークが FileNotFoundException エラーを引き起こす。

参照番号	説明
MDM-21894	自動と手動の両方の照合ルールがあり、データが両方のルールに一致する場合、照合テーブルに重複するエントリが含まれる。
MDM-21644	自動化ツールの実行が終了した後で、ツールがスキーマの書き込みロックを保有している。
MDM-21376	Zero Downtime 機能を備えた Oracle RAC データベース環境で、抽出プロセスで Oracle Golden Gate エラーが生成される。
MDM-21437	Data Director でレコードを一致でないとして選択した後で、自動一致とマージジョブを【一致しないすべての行を一意とする】オプションを指定して実行すると、一致でないとマークしたレコードの統合インジケータが 1 ではなく 2 になる。
MDM-21436	カスタムクエリで、【更新の強制】オプションを指定してロードジョブと再検証ジョブを実行すると、検証ルールが正常に実行されない。
MDM-21431	フィールドの信頼がダウングレードされたレコードで複数マージジョブを実行し、結果の XREF レコードのマージを解除すると、XREF レコードに存在しないフィールドの値が HIST テーブルに含まれる可能性がある。
MDM-21426	自動と手動の照合ルールがあり、データが両方のタイプのルールに一致する場合、照合テーブルに重複するエントリが含まれる。
MDM-21398	デフォルトでは、Put または Cleanse Put 呼び出しは、SIF 要求で指定されたフィールドではなく、レコード内のすべてのフィールドに BVT 計算を適用する。
MDM-21394	バッチグループのすべてのジョブが完了しても、バッチグループのステータスが処理中のままである。
MDM-21351	大文字小文字が混在したユーザー名で CreateUsers.cmd を実行すると、小文字ではなく大文字小文字が混在したユーザーが保存される。
MDM-21178	カスタムクエリに多くの結合およびフィルタが含まれる場合、パッケージツールを開くと、Hub コンソールが応答しなくなる。
MDM-21008	DB2 データベース環境で、データベースのベースオブジェクトを変更し、Hub コンソールから新しいカラムを追加しようとすると、次のエラーが発生する。 SIP-10313: Exception while executing change list: SIP-09089: Error in SQL update: DB2 SQL Error: SQLCODE=-20211, SQLSTATE=428FJ, SQLERRMC=null, DRIVER=3.69.24. DB2 SQL Error: SQLCODE=-20211, SQLSTATE=428FJ, SQLERRMC=null, DRIVER=3.69.24
MDM-20892	パスワードポリシーを設定し、【制限されたパスワード再利用限度】オプションを有効にすると、新しいユーザーを追加したときに、次のエラーが発生する。 SIP-10318: Cannot manage password history due to data access error.
MDM-22070	cmx.server.properties ファイルにこのリリースで導入されたプロパティが含まれていない。 回避策: アップグレード後にファイルにプロパティを追加してください。
MDM-19768	相互参照レコードで SIF コマンドを実行すると、次のエラーが発生する可能性がある。 SIP-40609: Cannot edit the record. The PERIOD_REFERENCE_TIME that you specified is not within the effective period for the record you are editing.

参照番号	説明
MDM-19652	3 つ以上の相互参照レコードが関連付けられているレコードをマージ解除した場合、正しい最終更新日が反映される相互参照レコードは 1 つだけである。
MDM-19610	ステージジョブが一部のレコードを次のエラーで拒否する。 SIP-11083: Cannot load class.
MDM-19587	executeBatchUnmerge SIF API の実行後、C_B_PARTY および C_B_PARTY_ALT_ID 間のリレーションが適切に設定されない。
MDM-19586	WHERE 句のパターンの検証ルールが適用されているとき、WHERE 句のパターンに一致するレコードだけではなく、すべてのレコードに対して信頼がダウングレードされる。
MDM-19004	リソースキットの自動化プロパティファイルに、ユーザーの作成に必要な電子メールアドレスを設定するためのプロパティが含まれていない。
MDM-18436	Delete Business Entity REST API でビジネスエンティティ内の子レコードを削除できない。REST API に NULL ポインタ例外が発生して失敗します。
MDM-18353	複数の操作参照ストアを使用する場合、一部の操作参照ストアで読み込み後のユーザーイグジットプロセスが失敗する。
MDM-18166	改ページを指定する場合に depth パラメータを使用すると、REST API 要求が結果を返さない。
MDM-17744	グローバル ID (GBID) にハイフン文字 (-) が含まれていると、REST 呼び出しが失敗する。
MDM-15369	中国語の文字がステージングテーブルに読み込まれると、一部の中国語の文字が破損する。
MDM-14943	WebSphere 環境で、Hub コンソールにログインすると、次の誤解されやすいエラーが表示される場合がある。 SIP-11101: クレンジング一致サーバーのライセンスが無効であるか期限が切れています。 回避策: Hub コンソールにログインする前に、-Dcom.ibm.crypto.provider.DoRSATypeChecking Java オプションが false に設定されていることを確認します。この Java オプションは、データ暗号化が許可され、パスワードのハッシュを機能させるために必要かどうかを指定します。
MDM-13617	WebSphere バージョン 8.5.5.9 環境で、クレンジングログにスタックトレースエラーが表示される。スタックトレースエラーは次のテキストから始まります。 v01/installedApps/INCMMDHUBQANode01Cell/siperian-mrm-cleanse.ear.ear/siperian-mrm-cleanse.war/WEB-INF/lib/com.informatica.mdm-siperian-cleanse-10.2.0-SNAPSHOT.jar!/resources/infinispanConfig.xml このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-13372	Microsoft SQL Server と JBoss の環境で、MDM Hub のデプロイ後にアプリケーションサーバーを再起動すると、エラーが発生する。このエラーは無視しても問題ありません。
MDM-12164	更新されたベースオブジェクトレコードに関連付けられた相互参照レコードを削除すると、削除操作が失敗する場合がある。これは、PUT_UPDATE_MERGE_IND 相互参照テーブルのカラムが原因です。
MDM-12129	必要なメッセージトリガが有効でも、復元 API が MQ メッセージをトリガしない。
MDM-11898	複数のベースオブジェクトで BVT バージョンの抽出バッチジョブを実行すると、最終抽出日が設定されない。

参照番号	説明
MDM-10792	<p>パーティション化されたテーブルがデータベースに含まれている場合、メタデータ検証プロセスで次の警告が生成される。</p> <p>SIP-PV-10233 (31) - The tablespace of a table in the database differs from the tablespace specified in the metadata.</p> <p>この警告は無視して構いません。</p>
MDM-10476	<p>1 つのレコードと大量の相互参照レコードのマージを解除すると、プロセスサーバーでメモリ不足エラーが生成される。</p>
MDM-10201	<p>変更リストを階層が有効になったスキーマに昇格させるには、MDM Hub 管理者特権が必要となる。</p>
MDM-9902	<p>ベースオブジェクトで「相互参照の昇格の履歴を有効にする」を有効にしても、相互参照の昇格の履歴が保持されない。</p>
MDM-9816	<p>WebSphere を使用してポートが異なる 2 つのマップレットがある Informatica Data Quality クレンジング関数を更新すると、次のエラーが表示される。</p> <p>SIP-11134: Compile failed for compile command</p>
MDM-9604	<p>ビジネスエンティティ設定を使用して空の変更リストをオペレーショナル参照ストアに昇格させると、昇格に失敗して次のエラーが表示される。</p> <p>'CO CS Configs\TaskConfiguration\Task Types\AVOSBeNotification\Task Roles\DataSteward'が依存しているため、オブジェクトを削除できません。(deleteRole[id:ROLE.DataSteward])</p> <p>回避策: DataSteward ロールをターゲットのオペレーショナル参照ストアから削除してから、変更リストを昇格させます。</p>
MDM-9220	<p>MDM Multidomain Edition バージョン 9.6.1 から変更リストをインポートまたは昇格できない。</p>
MDM-8738	<p>MDM Hub ログファイル cmxserver.log が、指定された最大ファイルサイズを超えて増加する。</p>
MDM-8588	<p>初めて Hub コンソールでスキーマをインポートするときに、次のエラーが表示されることがある。</p> <p>missing initial moveto in path definition</p> <p>このエラーは無視しても問題ありません。</p>
MDM-8060	<p>MDM Multidomain Edition バージョン 9.7.1 から変更リストをインポートまたは昇格すると、プロキシロールエラーが生成され、変更リストがインポートまたは昇格されない。</p>
MDM-7786	<p>新しいロールをユーザーに追加すると、オペレーショナル参照ストアが「無効」としてマークされる。</p>
MDM-7592	<p>ベースオブジェクトのカラムにマッピングされていないソースシステムで、カラムの有効な値が NULL 値でオーバーライドされることがある。例えば、SourceA と SourceB が BaseObjectC に関係しているとします。SourceA は、最小信頼度と最大信頼度の設定がゼロの状態では ColumnX にマッピングされています。SourceB は、ColumnX にマッピングされておらず、その信頼設定はありませんが、BaseObjectC のほかのカラムにマッピングされています。SourceB で BaseObjectC が更新されると、ColumnX が誤って NULL 値で更新されます。</p> <p>回避策: SourceA の最小信頼度の設定を 2 以上に変更します。</p>

参照番号	説明
MDM-6419	Hub コンソールを使用してロードジョブが含まれるバッチグループを実行しても、ログが実行されたロードジョブを識別しない。[制御およびログ] パネルでは、ログの [ジョブ名] カラムにロードジョブ名以外の情報が含まれています。
MDM-5830	MDM Hub のインストール後に、WebSphere アプリケーションサーバーのユーザー名とパスワードがインストールログに表示される。
MDM-1578	Hub コンソールのデータマネージャツールでアクティブな相互参照レコードを削除すると、レコードは削除されるがエラーが発生する。このエラーは無視しても問題ありません。

Data Director の既知の制限事項 (10.3)

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22587	タイムラインに基づく検索結果をエクスポートするときに、エクスポートプロセスがタイムラインを無視してすべてのデータをエクスポートする。
MDM-21988	ユーザーがタスクを要求するときに、タスクがまだ要求されていないことを確認するメッセージがタスクインボックスに表示されない。
MDM-21974	ホステッド MDM 環境で、Data Director をログアウトし、ブラウザのキャッシュをクリアしてから、ログアウトしたタブを更新すると、404 エラーが発生する。
MDM-21390	パスワードを変更してから、新しく要求されたマージ解除タスクを実行すると、マージ解除プロセスがレコードで実行されないのに、インタフェースメッセージではマージ解除が正常に行われたと表示される。
MDM-21388	【ホーム】 ページのタスクインボックスで、作成日でタスクをフィルタリングできない。
MDM-21361	値のない依存ルックアップに値を追加し、変更を承認のために送信するときに、承認タスクを開くことができない。
MDM-19053	Apache HTTP Server を使用すると、Data Director アプリケーションのロードに時間がかかる。
MDM-18712	検索結果のエクスポートに失敗する。
MDM-18260	レコードの作成後、そのレコードを編集または保存できない。 回避策: レコードをキャンセルしてから新しいレコードを作成します。
MDM-18259	Save Handler ユーザーイグジットのバージョン 10.2 HotFix 2 に追加された getChangedChildren メソッドが、このリリースで使用できない。
MDM-18157	Chrome で、インタフェースを中国語で表示すると、一部のボタンラベルが切り捨てられる。
MDM-16761	バージョン 10.1 HotFix 5 に追加された deleteMovedRelInExplorerView 設定が、このリリースで使用できない。

ビジネスエンティティを使用する Data Director

エンティティビューはビジネスエンティティに基づいています。これらのビューを使用するには、Data Director アプリケーションをサブジェクト領域からビジネスエンティティにアップグレードします。

参照番号	説明
MDM-22817	子レコードを子レコードに存在しない日付でフィルタリングすると、一致しない日付のレコードが表示される。r r r r
MDM-22815	エンティティ 360 フレームワークでは、カレンダーで使用されるデフォルトの日付形式を変更できます。 デフォルトの日付形式を変更するには、テキストエディタを使用して、プロパティ DATE_TIME_LONG_FORMAT を含む bundleE360.properties ファイルを作成します。次に、bundleE360.properties ファイルを以下の場所に追加します。 infamdm\hub\server\resources\entityE360 注: entityE360 ディレクトリがない場合は、このディレクトリを作成します。
MDM-22811	簡単なマージコンポーネントで、日付値を変更するときに、カレンダーが正しく表示されない。n n 回避策: 日付を入力します。
MDM-22519	検索結果の一部の行が空になる。ユーザーにレコードを表示する権限がないため、行にフィルタで除外されたレコードが表示されます。 回避策: MDM 管理者は検索インデックスを削除する必要があります。プロビジョニングツールから、ビジネスエンティティを開き、検索可能フィールドを追加または更新します。検索可能設定への変更により、インデックスが削除されます。ビジネスエンティティのデータを再インデックス処理します。
MDM-22369	タスクから変更されたレコードをプレビューするときに、プレビューで子レコードの一部の変更された値の横に変更バーが表示されない。
MDM-21692	カレンダーのコントロールがローカライズされていない。
MDM-18817	【相互参照】 ページおよび 【マージのプレビュー】 ページにページ番号の問題がある。
MDM-18665	【ステータスコード】 コードを削除するときに、次のエラーが発生する。 Cannot read property 'taskId' of undefined 回避策: このフィールドは、編集はできますが削除はできません。
MDM-18597	ユーザーロールにビジネスエンティティの作成および読み取り特権が含まれないにもかかわらず、このロールを持つユーザーがビジネスエンティティに関連するタスクを表示できる。
MDM-14958	検索ボックスのドロップダウンリストで、リストがブラウザウィンドウの高さを超えている場合、リストをスクロールして画面に表示されていない項目を表示することができない。 回避策: ブラウザで、全画面モードに切り替えます。リストの残りの部分が表示されるまで解像度を上げます。
MDM-14952	【履歴】 ビューで、 【オプション】 メニューのタイムスケールラベルが最初は正しく表示されない。 回避策: タイムスケールラベルのタイムスケールを操作して、正しく表示されるようにします。

参照番号	説明
MDM-14933	<p>【階層】 ビューで、履歴の【リレーション】 タブのビジネスエンティティが【ビジネスエンティティ】 ビューで開かない。</p> <p>回避策: 検索ボックスを使用してビジネスエンティティを検索し、そのエンティティをビジネスエンティティビューで開きます。</p>
MDM-14932	<p>【タイムライン】 ビューで、【リレーション】 タブに表示されるリレーションを開くことができない。</p>
MDM-14920	<p>【階層】 ビューの【エンティティの詳細】 ダイアログボックスで、【詳細】 をクリックすると、選択したビジネスエンティティが開かずにダイアログボックスが閉じる。</p> <p>回避策: 検索ボックスを使用してビジネスエンティティを検索し、そのエンティティをビジネスエンティティビューで開きます。</p>
MDM-14919	<p>【階層】 ビューで、アンカーエンティティの【アクション】 > 【新しいタブで開く】 オプションで新しいタブが開かない。</p>
MDM-14918	<p>【階層】 ビューで、アンカーエンティティの【アクション】 > 【編集】 > 【エンティティの編集】 オプションでビジネスエンティティが開かない。</p> <p>回避策: 【表示】 リストから、ビジネスエンティティビューを選択します。</p>
MDM-14890	<p>Microsoft Internet Explorer 10 で、ビジネスエンティティビューから【ログアウト】 ボタンが表示されず、履歴ビューで詳細が正しく表示されない。</p> <p>回避策: サポートされる別のブラウザを使用します。</p>
MDM-14781	<p>【一致するレコード】 ビューで、子レコードをターゲットレコードとして選択するときに、インタフェースで保留中状態のレコードを選択できるが、保留中のレコードはマージプロセスに参加できず、マージが失敗する。</p> <p>回避策: アクティブ状態の子レコードをターゲットレコードとして選択します。</p>
MDM-14460	<p>アプリケーションサーバーのタイムゾーンがクライアントのタイムゾーンと異なる場合、履歴ビューのイベントの時刻がイベントの詳細パネルの時刻と異なる。</p>
MDM-14385	<p>マージ操作およびマージ解除操作の詳細を表示すると、【更新者】 フィールドまたは【作成者】 フィールドのユーザー名の先頭に e360 が付く場合がある。</p>
MDM-14327	<p>ビジネスエンティティの子レコードの検索結果が複数のページにわたり、表示されるページの範囲外のページ数を入力した場合、それ以降に検索結果のページを表示しようとする失敗し、エラーが発生する。</p>
MDM-11397	<p>mdm_sample オペレーショナル参照ストアを使用している場合、個人ビジネスエンティティの電話番号を追加または更新できない。</p> <p>回避策: 個人ビジネスエンティティの電話番号を追加または更新する前に、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Hub コンソールで、【クレンジング関数】 ツールを起動して、書き込みロックを取得します。 2. 【カスタム】 > 【電話番号の解析 - 該当なし】 をクリックします。 3. 【電話番号の解析 - 該当なし】 機能の【詳細】 タブをクリックします。 4. 【条件】 を右クリックし、【条件の編集】 をクリックします。 5. 【条件の編集】 ダイアログボックスで、各ケース値について、国コードを+1 から 1 に変更します。 6. 変更内容を保存し、リポジトリマネージャを使用してメタデータを検証します。

参照番号	説明
MDM-8768	<p>アップグレードしてリポジトリテーブル c_repos_component_instance からすべての構成ファイルを削除した後で、Informatica Data Director に最初にログインしたユーザーのタスクマネージャのインボックスにタスクが表示されない場合がある。</p> <p>回避策: Informatica Data Director からログアウトし、再度ログインします。</p>
MDM-8764	<p>サブジェクト領域設定からビジネスエンティティスキーマを生成する場合、必須ルックアップフィールドがビジネスエンティティビュー設定またはトランスフォーメーション設定に含まれない。</p> <p>回避策: プロビジョニングツールで、欠落している設定コードを追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【詳細設定】 > 【ビジネスエンティティビュー (XML)】 を選択します。 2. 次のコードをルックアップ設定に追加します。 <code><ns2:field name="<missing field name>" /></code> 3. 【詳細設定】 > 【トランスフォーメーションの設定 (XML)】 を選択します。 4. 次のコードを co2view 設定に追加します。 <code><input name="<missing field name>" field="<missing field name>" /> <output name="<missing field name>" field="<missing field name>" /></code> 5. 次のコードを view2co 設定に追加します。 <code><input name="<missing field name>" field="<missing field name>" /> <output name="<missing field name>" field="<missing field name>" /></code> 6. 【詳細設定】 > 【ビジネスエンティティ (XML)】 を選択します。 7. 次のコードをルックアップ設定に追加します。 <code><ns2:field name="<missing field name>" label="<missing field name>" column="<missing column name>" required="true" /></code> 8. 【更新】 をクリックします。 9. 【検証してパブリッシュ】 をクリックします。
MDM-8606	<p>【一致するレコード】 ビューで、レコードをマージすると、システムが応答しないように見える場合がある。</p> <p>回避策: マージジョブが終了するまで待機します。</p>
MDM-7597	<p>レコードを削除した後でそのレコードを検索しても、削除したレコードの ROWID が依然として表示される。</p>
MDM-5715	<p>Internet Explorer 9 および 10 では、検索結果をタイプでグループ化すると、その後で検索結果を展開できない。</p> <p>回避策: Internet Explorer 11、または Chrome、Safari、Firefox などの代替ブラウザを使用します。</p>
MDM-5333	<p>ビジネスエンティティの子レコードでは一致とマージがサポートされず、子レコードに一致レコードを追加しようとする、データが破損する可能性がある。</p>
MDM-4710	<p>【ビジネスエンティティ】 ビューで、ビジネスエンティティにデータを追加して 【適用】 をクリックすると、Hub サーバーはデータをクリーンアップせず正しくフォーマットしない。</p> <p>回避策: 正しいフォーマットでデータをビジネスエンティティビューに表示するには、【保存】 ボタンをクリックします。</p>
MDM-2699	<p>カレンダーで、1000 年 1 月 1 日より前の日付を設定できない。</p>
MDM-2584	<p>【タスクマネージャ】 で、タスクをタスク ID、タスクタイプ、またはタスクステータスでソートできない。</p>
MDM-2574	<p>タスクインボックスで、所有者のフィルタを 【要求なし】 に設定しても、引き受けが解除されたタスクのリストが返されない。</p>

サブジェクト領域を使用する Data Director

従来のビューはサブジェクト領域に基づいています。

参照番号	説明
MDM-21793	レコードを作成するとき、一致候補が表示されない。
MDM-21427	子レコードと孫レコードは同時に編集できるが、孫レコードに編集を適用して、子レコードの編集をキャンセルすると、NullPointerException が発生する。
MDM-19980	【XREF】 ビューで、検索がログインしたユーザーの特権ではなく、管理者特権で実行される。 回避策: ULIMIT を増加します。
MDM-19608	すべてのデータビューで、データフィールドの空白が保持されない。
MDM-19421	テキストフィールドの最大長を超えた場合でも、検証エラーが表示されない。
MDM-18915	完全一致ルールに子レコードからのカラムが含まれる場合、重複の検索操作で一致しない子レコードが返される。
MDM-18854	【履歴】 ビューで、イベントの詳細を表示しようとすると、エラーが発生することがある。
MDM-18680	複数のサブジェクト領域を持つアプリケーションで、ユーザーに割り当てられたタスクがタスクインボックスに表示されない。
MDM-18632	指定された有効日付を使用して検索クエリを実行すると、検索結果に、子サブジェクト領域のレコードの値が正しく表示されない。
MDM-18442	子テーブルのルックアップカラムが高度な検索クエリに含まれていると、検索結果に子テーブルのルックアップフィールドの値が含まれない。
MDM-18163	カスタムプロファイルまたはマルチスレッドを使用して、検索結果をエクスポートできない。
MDM-16464	指定された有効日付を使用して検索クエリを実行すると、検索結果に、子サブジェクト領域のレコードの値が正しく表示されない。
MDM-14872	【一致】 ビューで、ユーザーはすでに他のレコードとマージすることが選択されているレコードをマージ候補として追加できるが、レコードをマージ候補として追加すると、エラーが発生する。
MDM-13787	【XREF】 ビューで、相互参照レコードのマージ解除タスクがすでに存在していてもそのレコードをマージ解除するように選択できるが、重複するマージ解除タスクが処理されるときにエラーが発生する。
MDM-10613	【階層】 ビューで、リレーションおよびリレーションレコードの終了日が IDD SMOS システムとは異なるソースシステムのものである場合、既存のリレーションレコードが削除される。
MDM-9796	【階層】 ビューの【フィルタ】 タブでエンティティタイプを無効にすると、これらのエンティティとのリレーションを作成できない。 回避策: リレーションを作成する前に、【フィルタ】 タブを開き、リレーションで使用するエンティティタイプを選択します。

プロビジョニングツールの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22531	読み取り専用フィールドに複数のデフォルト値を設定すると、プロビジョニングツールが検証エラーを表示する。 回避策: クレンジングジョブを使用して、読み取り専用フィールドにデフォルト値を設定します。
MDM-22457	重複名のあるレイアウトをパブリッシュすると、パブリッシュプロセスがエラーで失敗する。
MDM-22444	ビジネスエンティティでフィールドを読み取り専用にマークすると、そのフィールドでのクレンジングトランスフォーメーションが失敗する。 回避策: ビジネスエンティティビューでフィールドを読み取り専用としてマークします。
MDM-22329	フィールドフィルタが依存ルックアップフィールドで無効である。
MDM-21991	レコードビューに従来の【マージのプレビュー】が含まれている場合、プロビジョニングツールがエラーを表示する。
MDM-21421	Oracle データベース環境で、【履歴】ビューからイベント詳細を開くと、次のエラーが発生する。 ORA-01722: invalid number
MDM-20600	Hub コンソールからベースオブジェクトを削除するときに、プロビジョニングツールはベースオブジェクトを表示し続け、検証エラーを生成しない。 回避策: ベースオブジェクトを削除する場合、プロビジョニングツールで関係するビジネスエンティティを更新します。
MDM-14928	プロビジョニングツールが【ホーム】ページを何度も再ロードしようとする場合がある。 回避策: ブラウザを閉じてからもう一度開きます。必要に応じて、アプリケーションサーバーを再起動します。
MDM-14749	Hub コンソールでベースオブジェクトを削除すると、プロビジョニングツールで依存関係がビジネスエンティティ設定から削除されない。 回避策: プロビジョニングツールで、ベースオブジェクトの依存関係を削除します。
MDM-14255	ビジネスエンティティトランスフォーメーションに対する XML を設定すると、子ノード要素のクレンジングトランスフォーメーションでのマッピングに親ノードフィールドを使用できない。 回避策: マッピングする親要素へのパスを手動で入力します。サービスデータオブジェクト (SDO) の XPath 式を使用します。ここで、/はルート XML 要素を表しています。例えば、address 子ノードのトランスフォーメーションで、dunsNumber 親要素にアクセスするには、パス/OrderCompanyProfileResult[1]/ServiceResult[1]/OrderProductResponseDetail[1]/InquiryDetail[1]/DUNSNumber[1]を使用します。
MDM-14528	別のトランスフォーメーションと同じ名前でトランスフォーメーションを作成した場合、検証エラーメッセージが表示されない。エラーが表示されるのは、変更内容をパブリッシュしようとした場合のみです。
MDM-14521	Chrome Web ブラウザでプロビジョニングツールを使用すると、Chrome が応答しなくなる場合がある。

参照番号	説明
MDM-14449	2 つ以上のビジネスエンティティで参照される参照エンティティでフィールドを検索可能にすると、フィールドがすべてのビジネスエンティティで検索可能になる。 さらに、どのビジネスエンティティでも参照されない参照エンティティでフィールドを検索可能にすると、フィールドが検索できなくなります。 回避策: 1 つのビジネスエンティティでのみ参照される参照エンティティでフィールドを検索可能にします。
MDM-13754	書き込みロックが Hub コンソールで取得されると、プロビジョニングツールが想定どおりに機能しない。
MDM-8844	プロビジョニングツールを使用して設定の変更をパブリッシュする場合、IDD コンフィギュレーションマネージャでビジネスエンティティスキーマを生成すると、これらの変更を上書きできる。
MDM-8668	【モデリング】 ページから、システムカラムにアクセスして編集できる。 回避策: システムカラムを編集しないようにします。
MDM-7219	最後のスラッシュを省略すると、プロビジョニングツールの起動に失敗する。 回避策: http://host:port/provisioning/ のように、URL の最後にスラッシュを追加します。

ビジネスエンティティサービスの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

注: 以前のリリースでは、ビジネスエンティティサービスは複合サービスと呼ばれていました。

参照番号	説明
MDM-14375	GetRelated SOAP API で複数の recordState を指定すると、エラーが発生する。
MDM-13715	レコードを WriteCO API とマージすると、エラーが発生する。
MDM-10553	削除された孫レコードに対して複合サービス読み取りを実行しても、データが返されない。

Solr を使用した検索の既知の制限事項

検索とは検索可能に設定されたフィールドでの全文検索のことを指します。Solr を使用した検索は、以前はスマート検索と呼ばれていました。

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22690	レコードを検索すると、ビジネスエンティティを使用する Data Director アプリケーションには適用されないアクションが検索結果に含まれる。
MDM-20998	SIF API またはビジネスエンティティサービスを使用するプロセスの削除を実行すると、検索インデックスが削除されない。
MDM-19005	検索が有効になっている場合、一部のレコードを結合した後でレコードを検索すると、検索結果ページに重複するレコードが表示されることがある。

参照番号	説明
MDM-14953	<p>スマート検索データの初期インデックス処理ジョブが次のエラーで失敗する場合があります。</p> <p>SIP-52050: Failed to retrieve the ZooKeeper client instance because the connection to the ZooKeeper client instance timed out. No collection linked.</p> <p>回避策: 10 分後にジョブを再実行します。同じエラーが再び発生する場合、アプリケーションサーバーを再起動してジョブを再実行します。</p>
MDM-14945	<p>保留中のレコードを削除した後で、cmxserver.log ファイルに次のエラーが表示される。</p> <p>[ERROR] com.informatica.mdm.sss.SmartSearchMDB: SIP-11041: Communication error "invalid stream header: 3C3F786D" occurs when making a request to Process Server</p>
MDM-14944	<p>ビジネスエンティティ名にアンダースコアが含まれていると、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブが失敗する。</p> <p>回避策: ビジネスエンティティ名にアンダースコアを使用しないようにします。</p>
MDM-11238	<p>二重引用符 (") で囲まれた検索文字列を使用して完全一致検索を実行すると、検索で予期された結果が返されない場合があります。</p> <p>回避策: 各二重引用符の前にバックスラッシュ (\) を付けて再び検索します。例: \"Robin Williams\"</p>
MDM-10723	<p>検索可能なフィールドとしてフィールドを設定すると、検索要求が失敗することがある。</p> <p>回避策: 次のいずれかのタスクを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 次の URL を使用してコレクションを再ロードします。http://<Host Name>:<Port>/MDESolr/admin/collections?action=RELOAD&name=<Collection Name> Host Name は、ZooKeeper サーバーとして使用するプロセスサーバーのホスト名を示し、Port は、プロセスサーバーがリスンするポート番号を示します。Collection Name は、フィールドを追加したコレクションまたはビジネスエンティティの名前です。 コレクション名は、次のディレクトリから取得できます。<MDM Hub Installation Directory>\hub\cleanse\solr 例えば、4d5354312e375056.Person は Person ビジネスエンティティのコレクション名です。 - アプリケーションサーバーを停止し、ZooKeeper データディレクトリを削除して、アプリケーションサーバーを再起動します。
MDM-10389 MDM-11925 MDM-12691	<p>検索要求で次のいずれかのエラーが返される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [SearchService_30027]Exception occurred while getting query the constructor - An internal error occurred. Contact an administrator to get more information for the client tool logs. If the administrator cannot determine the cause of the error, contact Informatica Global Customer Support. <p>回避策: アプリケーションサーバーを再起動して再試行します。同じエラーが発生する場合、次のタスクを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アプリケーションサーバーを停止します。 2. ZooKeeper データディレクトリを削除します。 3. 複数のプロセスサーバーで検索を有効にした場合、次のディレクトリを削除します: <MDM Hub Installation Directory>\hub\cleanse\solr 4. アプリケーションサーバーを再起動します。 5. solr ディレクトリを削除する場合、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブを実行します。 6. 検索を再度実行します。

参照番号	説明
MDM-9805	REST サービスの WADL ファイルの期限が切れている。 回避策: REST サービスの詳細については、『 <i>Multidomain MDM</i> ビジネスエンティティのサービスガイド』を参照してください。
MDM-8488	負の数値を検索するか、負の数値を使用して検索結果をフィルタリングすると、次のエラーが表示される。 [SIP-11008] SIP-11008: [SearchServiceClient_00028] You cannot use the following operators in the search string: AND, NOT, -, and OR. Add + before each search word if the search results must contain the word. Do not add + if the search word is optional or single word.
MDM-8598	アプリケーションサーバーの再起動後、スマート検索データの初期インデックス処理ジョブまたは検索要求でアプリケーションサーバーログファイルに次のエラーが返される。 No live SolrServers available to handle this request 回避策: アプリケーションサーバーを再起動します。
MDM-8161	多数の結果を表示するように検索を設定すると、ブラウザによっては、一部のレコードが表示されなかったり、応答しなくなったりすることがある。
MDM-5785	検索要求で 1970 年より前の日付がファセットされない。
MDM-4753	検索 UI に同じ名前の 2 つのフィルタが表示され、フィルタ対象のオブジェクトが識別されない。フィルタフィールドは一意である必要はありません。ルートオブジェクトと子オブジェクトの両方に同じ名前 (Name など) のフィールドを割り当てることができ、両方のフィールドをフィルタとして設定できます。 回避策: ルートオブジェクトとその子オブジェクトのカラム名が一意になるようにします。
MDM-3289 HORA-52192	複合オブジェクトに displayName というフィールドが含まれていない場合、検索を実行すると、[検索] ワークスペースの [名前] カラムにランダムなフィールド値が表示される。 回避策: [名前] カラムにフィールド値を設定するには、データベースツールを使用して C_REPOS_CO_CS_CONFIG テーブルを開き、SEARCHABLE_CO 設定タイプの BLOB データの該当フィールドに複合オブジェクトの [displayName] プロパティを設定します。
MDM-3235	スマート検索データの初期インデックス処理ジョブを 2 回以上実行すると、このジョブから不正なメトリックが返されることがある。
MDM-2644	プロセスサーバーで検索を有効にすると、メモリ不足でコレクションの作成が失敗しても、アプリケーションサーバーログファイルには関連するエラーメッセージが何も記録されない。
MDM-1799	負の値を検索すると、検索要求によって一致する正と負の値が返される。

ビジネスプロセス管理の既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-22814	Siperian ワークフローエンジン。要求済みタスクを再割り当てしようとすると、[タスクの編集] ダイアログボックスの割り当てリストが空になっている。s
MDM-18483	ユーザーがセカンダリワークフローエンジンで作成されたタスクを開くことができない。

参照番号	説明
MDM-18455	Data Director で作成されたマージ解除タスクのタイトルが、ActiveVOS スキーマの aeb4ptask テーブルに{\$title}として保存される。
MDM-18009	タスクに関連付けられた多くのコメントがある場合は、次のエラーが発生する可能性がある。 Comments cannot exceed more than 3968 characters.
MDM-16675	API 呼び出しを使用してユーザーに ActiveVOS タスクを返す場合、createDateBefore または createDateAfter フィルタを指定していると、この呼び出しに失敗する。
MDM-14205	<p>サンプルのオペレーショナル参照ストアを使用する場合、Hub コンソールで Workflow Manager を開くとエラーが発生する。サンプルのオペレーショナル参照ストアでは、MDM_SAMPLE.C_REPOS_DB_RELEASE の WORKFLOW_ENGINE_NAME の値が CMX_SYSTEM.C_REPOS_WORKFLOW_ENGINE の NAME の値と一致しません。</p> <p>次のいずれかの回避策を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ビジネスエンティティベースのワークフローエンジン ActiveVOSBE が存在しない場合、設定に追加する。 - または、サンプルのオペレーショナル参照ストアの設定を、既存のビジネスエンティティワークフローエンジンの名前に更新する。CMX_SYSTEM.C_REPOS_WORKFLOW_ENGINE カラムで、値を ActiveVOSBE に変更します。
MDM-13359	ActiveVOS を使用している場合、ユーザーがマージ解除タスクを作成したロールに属し、同時にそのタスクタイプを承認するロールにも属することはできない。ユーザーが両方のロールに属している場合、ユーザーがマージ解除タスクを承認しようとするとエラーが発生します。
MDM-12011	<p>MDM Hub と ActiveVOS をインストールすると、postInstallSetup.log ファイルで次の例外が発生する。</p> <pre>java.util.concurrent.RejectedExecutionException</pre> <p>この例外は無視しても問題ありません。</p>
MDM-9079	ActiveVOS コンソールで、[MDM ID プロバイダ] ページの [MDM 接続設定パスワード] フィールドに、MDM Hub ユーザー名 admin のパスワードを入力する必要がある。他のユーザーが管理権限を持っていたとしても、そのユーザーのパスワードを使用することはできない。
MDM-9041	<p>複数のワークフロートリガがアクションに適用されている場合、後続のトリガがビジネスエンティティに固有であっても、最初に適用できるトリガが適用される。</p> <p>回避策: タスク構成ファイルで、ビジネスエンティティ固有のトリガをファイルの先頭に配置します。一般性の高いトリガをファイルの末尾に配置します。</p>
MDM-8763	<p>MDM Hub と埋め込み ActiveVOS を同時に Linux 環境にインストールすると、postInstallSetup.log に次のエラーが表示される。</p> <pre>[exec] Unable to locate tools.jar. Expected to find it in /data/tmp/install.dir.12594/Linux/resource/lib/tools.jar</pre> <p>このエラーは無視しても問題ありません。</p>
MDM-8622	<p>バージョン 9.7.1 から ActiveVOS タスクをインポートする場合、バッチファイルを実行してプレゼンテーションパラメータをタスクに追加すると、エラーが発生する。</p> <p>このエラーは無視しても問題ありません。</p>
MDM-8086	MDM Hub によって設定されたタスクの優先度を使用して ActiveVOS エスカレーションをトリガできない。

参照番号	説明
MDM-6473	サイレントインストーラのプロパティ AVOS.ORACLE.CONNECTION.TYPE が SID に設定されると、Hub サーバーのサイレントインストールプロセスで不正な ActiveVOS データベース URL が設定される。 回避策: Hub サーバーのサイレントインストールを実行する前に、サイレントインストーラのプロパティ AVOS.ORACLE.CONNECTION.TYPE を Service Name に設定します。
MDM-5290	BPM アダプタを変更すると、マージタスクの数が正しくカウントされず、数がマージタスクのしきい値を超える場合がある。 回避策: _MTCH テーブルで ROWID_TASK カラムの値を NULL に設定します。

Resource Kit の既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-21658	機能拡張がこのリリースに含まれていない。 バージョン 10.1 HF6 で、AssignUsersToDatabase スクリプトは大文字を含むユーザー名をサポートするように更新されました。
MDM-14102	Web サンプルの LookupWebServiceExample をデプロイすると、MDM Hub でアプリケーションサーバーログファイルにエラーが生成される。このエラーは無視しても問題ありません。

サンプルのオペレーショナル参照ストアの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-14684	アップグレード後、IDD 構成を検証すると、タスク構成ファイルに SrManager ロールが存在しないことを示すエラーが発生する。 回避策: SrManager ロールを追加します。 1. Hub コンソールで、必要な特権を持つ SrManager ロールを追加します。 2. Hub コンソールでリポジトリマネージャを使用して、メタデータを検証します。 3. リポジトリテーブル C_REPOS_CO_CS_CONFIG を切り詰めます。 4. IDD コンフィギュレーションマネージャで、IDD アプリケーションのビジネスエンティティスキーマを生成します。
MDM-14434	エンティティビューでルックアップカラムの値の完全なリストが表示されない。 回避策: Hub コンソールでデータベースツールを使用し、ルックアップベースオブジェクトの GETLIST 上限を 300 に設定します。

サービス統合フレームワークの既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-19151	DeleteMatches サービスが InteractionID によりブロックされたデータを正しく処理しない。
MDM-8880	SIF 呼び出しにより、LAST_UPDATE_DATE カラムと UPDATED_BY カラムが不正なデータで更新される。
MDM-593	Windows オペレーティングシステムの Microsoft SQL Server 環境で、SearchMatch が複数のスレッドを使用して実行されていると、次のエラーが発生する。 SIP-10226=Error in building query to run MATCH verb. 回避策： 次のエントリをレジストリサブキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters に追加します。 値の名前: MaxUserPort 値のタイプ: DWORD 値のデータ: 65534

Informatica プラットフォームの既知の制限事項

次の表に、既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-18229	Linux 環境で、Informatica プラットフォームをインストールするオプションが使用できない。

Informatica Data Controls の既知の制限事項

以下の表に既知の制限事項を示します。

参照番号	説明
MDM-8950	Microsoft Internet Explorer 11 で、[インポート] をクリックすると [プロアクティブな一致] ウィンドウが応答を停止する。 回避策: Java Server Page ファイルで、ホストページの互換モードを有効にします。